

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel.77-7550	三郷陶芸クラブ 絆～津留氏遺作展～	6月28日(水)～7月2日(日) 9:00～17:00 1階企画展示室	無料(常設展は有料)
	楡フォトクラブ写真展	7月9日(日)～23日(日) 9:00～17:00 1階企画展示室	
田淵行男記念館 Tel.72-9964	田淵行男写真展 「黒の造形」	6月27日(火)～10月15日(日) 9:00～17:00 1階企画展示室	要入館料
穂高交流学習 センター「みらい」 Tel.81-3111	～MIRAI～グランドピアノ無料開放 (参加者募集)	8月12(土)・13(日) 10:00～20:45 多目的交流ホール	市内在住のピアノ経験者 無料 定6～11組/日 45分～105分/組(先着順) 7月26日(水)から電話で (受付時間10:00～17:00)

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください



▲穂高塚原中上御柱たての準備(2021年)

コロナ禍の3年間、地域の行事や祭りはその都度、開催中止かの判断を迫られました。例えば、例年1月に行われる穂高塚原中上の御柱は、子どもたちが御柱に飾り物をしたり、前年に祝い事があった家に福俵を届けるなど地域で欠かせない役割を担っていました。しかし、2021年は子どもたちの参加を取りやめ、保存会のメンバーだけで実施しました。保存会のメンバーは「大人だけで全て行うことは寂しいですが、絶やさずに続けていくことが自分たちの役目」と話します。

一方、その傍らでは、松飾りやだるまなどが次々と持ち込まれ、絶えることなく燃え続けていました。正月飾りはコロナ禍でも変わらず飾られます。そして、正月が過ぎるとそれを処分する場が求められます。本年5月、4年ぶりに開催された三郷の黒澤不動尊の例祭でも同様に、中止の期間にも卒塔婆などのお焚き上げは続けられました。

これらの例からも、地域の行事や祭りは、伝統を受け継ぐ担い手の思いと、そこに住む人たちのニーズの両方により成り立っているのです。

「コラム」市誌編さんだより 第12回  
生活とともに続く伝統行事

市誌編さん専門調査会民俗部会  
調査員 白井 ひろみ



穂高陶芸会館×豊科近代美術館コラボ企画 マイカップ作り&コーヒータイム

アジサイが見ごろとなる陶芸会館でカップとソーサーを作り、完成した器を使って近代美術館のカフェでドリンク・パウンドケーキを楽しみます。

7月8日(土)  
①9:30～②13:30～  
対18歳以上  
(グループ参加最大3人)

費1,200円 定各回18人(先着順)  
6月30日(金)から参加費とともに  
陶芸会館へ直接  
穂高陶芸会館 Tel.82-6750



穂高古墳群 C2号石室

7月22日(土) ▶ 9月18日(月) 開館時間 9:00 ▶ 17:00

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUEUM  
安曇野市豊科郷土博物館

入館料 一般100円  
問い合わせ Tel.72-5672

関連企画

シンポジウム 安曇野の古墳をめぐって ～群衆墳て何?～

《パネラー》  
風間 栄一さん(長野市埋蔵文化センター)  
関沢 聡さん(松本市教育委員会)  
白居 直之(市教育委員会)  
《進行》原 明芳(館長)

7月22日(土) 13:30～15:30  
豊科公民館2階大会議室  
費100円  
定70人(先着順)  
7月1日(土)から電話で

講座 古代・中世の墓は何を語るのか

9月2日(土) 13:30～15:30  
豊科公民館2階大会議室  
原 明芳(館長)  
費100円 定70人(先着順)  
8月19日(土)から電話で

ギャラリートーク

8月5日(土) ②9月9日(土)  
10:00～、14:00～(両日とも)  
博物館2階展示室  
要入館料  
不要

現地見学会 黄泉の国を覗(のぞ)いてみよう ～魏石鬼岩窟・陵塚の見学～

9月16日(土) 9:00～12:00 場有明山神社駐車場集合 原 明芳(館長)  
費100円 定20人(先着順) 9月6日(水)から電話で



豊科郷土博物館夏季企画展  
古代・中世の墓を覗(のぞ)く  
人は死者をどう扱ってきたか  
市内で発見された古代・中世の墓とそこに納められた副葬品から、墓がなぜ造られたのか、人々は死をどのように扱ってきたのかをテーマに展示します。

豊科郷土博物館 ブックレット刊行記念自然講演会「海の向こうから見る日本の草原」



長峰山山頂の草原

博物館ブックレットの第4弾となる「安曇野自然観察フィールドガイドvol.1」が刊行。これを記念して、植物写真家のいがりまささんの講演会を開催します。植物の旅で全国・世界を訪れた豊かな経験と知識をもとに、日本の草原の植生について時間と空間のスケールを大きく広げて、その魅力に迫ります。

7月8日(土) 13:30～15:00  
豊科交流学習センター「きぼう」  
多目的交流ホール  
いがりまささん(植物写真家)  
費100円  
定50人(先着順)  
博物館に電話で  
穂高郷土博物館 Tel.72-5672